

# 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

株式会社JALエアテック

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	【 2,350,286 】	【流動負債】	【 608,963 】
現金および預金	13,795	買掛金	255,928
受取手形	311	リース債務(1年内)	76,676
売掛金	889,777	未払事業税等	
リース投資資産	120,951	未払法人税等	65,208
商品	13,513	未払消費税	134,360
仕掛品	19,653	未払費用	60,748
原材料・貯蔵品	10,219	その他流動負債	16,040
未収入金	6,301		
前払費用	24,062	【固定負債】	【 142,059 】
短期貸付金	1,242,268	リース債務	44,274
その他流動資産	9,433	繰延税金負債	93,261
		その他固定負債	4,523
【固定資産】	【 1,038,571 】	負債合計	751,023
(有形固定資産)	( 542,934 )		
建物勘定	333,300	(純資産の部)	
構築物	11,021	【株主資本】	【 2,615,575 】
機械装置	71,353	【資本金】	【 100,000 】
車両運搬具	103,961	【資本剰余金】	【 225,000 】
リース資産	973	資本準備金	10,000
工具器具備品	19,600	その他資本剰余金	215,000
建設仮勘定	2,723	【利益剰余金】	【 2,290,575 】
(無形固定資産)	( 106,822 )	利益準備金	78,750
電話加入権	5,706	(その他利益剰余金)	( 2,211,825 )
ソフトウェア	101,115	別途積立金	104,383
(投資その他の資産)	( 388,814 )	繰越利益剰余金	2,107,442
投資有価証券	59,570	【評価・換算差額等】	【 22,259 】
関係会社株式	4,085	【有価証券評価差額金】	【 22,259 】
長期貸付金	10,600		
前払年金費用	291,457	純資産合計	2,637,834
その他投資	23,101		
資 産 合 計	3,388,858	負債・純資産合計	3,388,858

# 損益計算書

(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

株式会社JALエアテック

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		4,796,981
売上原価		4,070,752
売上総利益		726,228
販売費及び一般管理費		401,250
営業利益		324,978
営業外収益		
受取利息及び配当金	908	
その他	7,360	8,268
営業外費用		
支払利息	48	
その他	245	294
経常利益		332,953
特別利益		
固定資産売却益	54	54
特別損失		
固定資産除却損	15	
その他	1,786	1,802
税引前当期純利益		331,205
法人税、住民税及び事業税	134,898	
法人税等調整額	△ 8,720	126,179
当期純利益		205,026

# 個別注記表

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### 1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式……………移動平均法による原価法  
その他有価証券  
市場価格のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法  
(評価差額は全部純資産直法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの……………移動平均法による原価法

#### 2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料、貯蔵品……………先入先出法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

商品……………移動平均法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### 1) 有形固定資産

(1) 事業用車両および1998年4月1日以降に取得した建物  
(建物附属設備を除く)並びに  
2016年4月1日以降に取得した建物附属建築物及び構築物……………定額法

(2) その他……………定率法

#### 2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

#### 1) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び、年金資産の見込み額に基づき、計上しております。

### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### 1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうちリース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### 2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### 3) 収益認識の会計処理

当社は、航空整備車両の修理業務を提供しており、役務提供完了の時点で収益を認識しております。

#### 4) 資産除去債務に関する 会計基準の適用

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所等について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃貸資産の使用期限が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることが出来ません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していません。

## II. 会計方針の変更に関する注記

### 1. 収益認識に関する会計基準の適用

当事業年度より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第 29 号）を適用しております。この変更による財務諸表に与える影響はありません。

## III. 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1. 当会計年度末の発行済み株式の種類および総数

・発行済株式	普通株式	683,200 株
--------	------	-----------

### 2. 当会計年度中に行った無償減資に関する事項

2020 年 9 月 1 日に資本金 3 億 15 百万円を 1 億円にし、2 億 15 百万円をその他資本剰余金に計上することにより減資を行っております。

### 3. 配当に関する事項

#### 1) 事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

無配のため該当事項はありません。

#### 2) 事業年度中の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

無配のため該当事項はありません。

## IV. その他の注記

### 1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所等について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃貸資産の使用期限が明確でなく、現在移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることが出来ません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していません。

### 2. その他の追加情報

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準（企業会計基準第 24 号 2009 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針（企業会計基準適用指針第 24 号 2009 年 12 月 4 日）を適用しております。

### 3. 計算書類およびその附属明細書の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。百分率は、四捨五入表示としております。